

9月8日のウクライナ情報

安齋育郎

①【EEF プーチン氏登壇】ウクライナ情勢について(2024年9月5日)

ロシアのプーチン大統領は 5 日、ウラジオストクで開催されている東方経済フォーラム(EEF) 2024 で登壇した。

ウクライナはクルスク州攻撃でパニックを起こそうとしたが、むしろ露社会の結束は強まった。

クルスク州攻撃以降、志願兵の数が急増した。

ウクライナのテロ行為で苦しむ人々のことを考えなければならない。ロシア軍の神聖な責務は、敵を領土から追いやり、国民を守ることだ。

ロシアはウクライナとの対話を拒否したことはない。

西側はロシアを跪かせて、バラバラにしようとしたが、成功しなかった。

ウクライナのエリート層は自国民のことを考えていない。彼らの家族は外国に住んでおり、自分たちもいざとなれば飛行機に乗ればいいからだ。

ウクライナは、最後のウクライナ人になるまで戦いつづけようとしている。

ウクライナは徴兵年齢を下げなくてはいけなくなるだろうが、これで問題解決にはならない。



<https://sputniknews.jp/20240905/eef-19046339.html>

② 【EEF プーチン氏登壇】原発攻撃について 「非常に危険なテロ」(2024年9月5日)

プーチン大統領は、クルスク原発とザポロジエ原発への攻撃に関して、ロシアが同様の対応をとった場合、欧州で何が起こるのかは想像するしかないと述べた。

<https://twitter.com/i/status/1831612986366292389>



<https://sputniknews.jp/20240905/eef-19046677.html>

③【EEF プーチン氏登壇】脱ドル化について(2024年9月5日)

東方経済フォーラム 2024(EEF2024)は9月3～6日、ウラジオストクの極東連邦大学で開催。今年のメインテーマは「極東 2030・力を合わせて可能性を創出しよう」で、76の国と地域から6000人以上が参加する。

ロシアは「脱ドル化政策」を推進しているのではない。ロシアがドル決済を拒否したのではなく、向こうがロシアを拒否したから、我々は別の可能性を探すほかなくなったのだ。

米国はドルサービスから排除すれば、ロシアは崩壊するだろうと思ったのだろうが、我々は自国通貨に切り替えるだけだ。

西側は愚かでプロフェッショナルではない行動によって、自ら脱ドル化を招いている。

ドルの拒否は政治情勢とは関係ない、自然のプロセスだ。

米国は第二次世界大戦の結果を利用して、統一通貨をつくった。

ロシアと BRICS 諸国との自国通貨決済は60%に到達しようとしている。



https://sputniknews.jp/20240905/eef-19045730.html?rcmd_alg=collaboration2

④プーチン大統領、和平仲介できるのは中国・ブラジル・インド…「これらの国の指導者とは信頼関係」(9/5)



ロシアのプーチン大統領は5日、露極東ウラジオストクで開催されている「東方経済フォーラム」の全体会合に出席した。タス通信によると、ウクライナ軍による露西部クルスク州への越境攻撃に関し、プーチン氏は「(州内は)安定し、徐々に敵を締め出している」との見方を示し、攻撃は「失敗だ」と主張した。露軍のウクライナ東部ドネツク州での急速な進軍ぶりも強調した。

ウクライナ軍が越境攻撃を開始して6日で1か月となる。ウクライナ側はクルスク州で約1300平方キロ・メートルとされる露領土の制圧を続けており、プーチン氏にはウクライナ側の主張を打ち消す意

図もあるとみられる。

プーチン氏は「敵は人的資源と装備の双方で非常に大きな損失を受けた」と強調し、越境攻撃は「ロシアの結束を強め、契約軍人の増加につながっている」と訴えた。

一方、ウクライナとの将来的な和平交渉に向けて「どの国が仲介者になれるか」との司会者の質問に対してプーチン氏は、中国、ブラジル、インドの名前を挙げ、「これらの国の指導者とは信頼関係を持っている」と語った。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/77c5499237a3a6cae0d166f8249fee0e7b1119ee/images/000>

⑤プーチン氏、クルスク州奪還は「神聖な義務」反撃方針示す 北方領土占拠も正当化 (産経新聞、2024年9月5日)

ロシアのプーチン大統領は5日、極東ウラジオストクで開かれた露主催の国際会議「東方経済フォーラム」の全体会合に出席した。プーチン氏は、ウクライナ軍が越境攻撃を続ける露西部クルスク州から同国軍を排除することは「神聖な義務だ」と表明。今後反撃を行い、占領された地域を奪還する考えを示した。

全体会合の司会者との質疑応答で発言した。プーチン氏は、ウクライナ軍が越境攻撃に戦力を割いたことで「(東部ドネツク州など)重要な方面で弱体化した」と主張。「一方の露軍は攻撃作戦を加速させている」と述べた上で、露軍がドネツク州で数十平方キロ単位で制圧地域を拡大し続けているとし、露軍が優勢だとの認識を示した。

プーチン氏は「越境攻撃でウクライナは露軍の戦力分散や露社会を混乱させることを狙ったが、失敗した」とも主張。露国民はむしろ団結し、軍への入隊志願者が「急増した」と指摘した。

プーチン氏は質疑応答に先立つ演説で、第二次大戦最末期にソ連が日ソ中立条約に反して対日参戦し、北方領土を不法占拠したことにも言及。北方領土などへの上陸作戦を「わが軍の兵士の勇敢さの象徴だ」と正当化し、上陸作戦の記憶を保存する記念館の建設を指示したと明らかにした。

プーチン氏はまた、ロシアがウクライナ侵略に伴う欧米諸国の経済制裁を克服したとの持説も展開した。中露など主要新興国の枠組み「BRICS」諸国内の貿易決済の65%が米ドルやユーロではなく自国通貨で行われているとしたほか、グローバル・サウス(南半球を中心とする新興・途上国)が世界のGDP(国内総生産)に占める割合は50%超に達していると強調。今年のロシアのGDP成長率は去年の3.4%を超えるとする見通しも示した。

全体会合には中国の韓正(かんせい)国家副主席とマレーシアのアンワル首相も出席した。(小野田雄一)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/051469b374d2a41e527bf576069c9fdbec5b903>

⑥クルスク越境攻撃「成功」、東部でロシア軍前進せず = ウクライナ総司令官 (By ロイター編集、2024年9月6日)

※安齋注:これがウクライナ応援団の典型的報道

[5日 ロイター] - ウクライナ軍のシルスキー総司令官は、ロシア西部クルスク州への越境攻撃は成

功しているとの認識を示した。また、ウクライナ東部の戦況について、ロシア軍は過去6日間にわたり重要地域で前進していないと述べた。

シルスキー司令官は5日に放映された米CNNのインタビューで「過去6日間、ロシア軍はウクライナ東部ドネツク州でポクロフスク方面に向けて1メートルも前進していない」と指摘。「われわれの戦略は成功している」とし、クルスク越境攻撃は「軍だけでなくウクライナ国民全体の士気を大きく高めた」と述べた。

このコメントは、ウクライナのクルスク越境攻撃は失敗したとする、4日のプーチン大統領の発言とは対照的だ。もっと見る

ウクライナのゼレンスキー大統領も同日夜のビデオ演説で、ウクライナ軍はクルスクで陣地を維持しており、「連日の作戦が、ロシアがこの戦争に負ける可能性があることを世界に対して証明している」と述べた。



<https://jp.reuters.com/world/ukraine/AUP6CVFRQRMDPLKEMO4TTYYG4M-2024-09-05/>

⑦ウクライナ、内閣大幅刷新 外相にシビハ次官(By ロイター編集、2024年9月6日)

[キーウ 5日 ロイター] - ウクライナの最高会議(議会)は5日、外交の顔だったクレバ外相の後任にシビハ第1外務次官を充てる人事を承認した。他に副首相2人を含む閣僚8人の人事も承認し、2022年にロシアによる侵攻が始まって以来最大の内閣刷新が決まった。

シビハ氏(49)は外交官出身。ゼレンスキー氏の下で数年間、外交政策と戦略的パートナーシップを監督していた。クレバ外相は4日、ゼレンスキー氏の政府刷新方針を受けて、辞任を表明していた。アナリストはウクライナの外交政策に変化はないと予想している。

クレバ氏に先立ち、複数の閣僚が3日に辞意を表明していた。それ以前にも5人の閣僚が解任されて空席となっていた。ゼレンスキー大統領が後任を指名した。

3日に辞表を提出していたステファニシナ副首相(欧州統合担当)は留任し、法相を兼務する。

また、国内の兵器生産を担当する戦略産業相には昨年からの国営軍需企業のトップを務めていたハ

ルマン・スメタニン氏が就く。



ウクライナのゼレンスキー大統領(写真)は5日、新たな外相にシビハ第一外務副大臣を指名した。2日撮影。(2024年 ロイター/File Photo)

<https://jp.reuters.com/world/ukraine/G2ORETPASJMYJIBUPXEUTZV3QQ-2024-09-05/>

⑧ウクライナの越境攻撃は失敗 中印などが和平協議仲介も＝プーチン氏(By ロイター編集、2024年9月5日)

[ウラジオストク(ロシア) 5日 ロイター] - ロシアのプーチン大統領は5日、西部クルスク州へのウクライナの越境攻撃は、ウクライナ東部ドンバスでのロシア軍の進撃を抑えることができず、ウクライナ軍は自ら防衛力を弱めたと指摘した。極東ウラジオストクで開催された会議「東方経済フォーラム」で述べた。

一方で、ウクライナとの和平協議をこれまで拒否したことはないとも述べ、和平協議を行う場合、中国、インド、ブラジルが仲介国になる可能性があるとは指摘した。また、2022年の侵攻開始後まもなくトルコ・イスタンブールで行った協議でウクライナと暫定合意した停戦案が協議の基礎になりえるとの認識を示した。



<https://jp.reuters.com/markets/commodities/BEPOFVWBHRIWZDYGHM5IGS5I64-2024-09-05/>

⑨特別軍事作戦 9月2,3日の概要 露国防省(2024年9月3日)

【9月2日】

- ウクライナ軍の過去 24 時間の人的損失は最多で 1690 人に上った。
- ウクライナ軍はクルスク州方面で過去 24 時間で人員 350 人以上、装甲車両 14 台を失った。
- ロシア軍「ツェントル」隊(中央方面隊)はドネツク人民共和国のスクチノエ村を解放した。
- ロシア軍は 2 日にかけての深夜、ウクライナのエネルギー関連施設および航空機、ミサイル兵器の修理が行われていた軍産複合体に対し、高精密兵器およびドローンによる攻撃を行った。

<https://sputniknews.jp/20240902/92-19034010.html>

【9月3日】

- ウクライナ軍は過去 24 時間で最多で 2010 人の人員を失った。
- ロシアの対空防衛システムは過去 24 時間でウクライナ軍の Mig29 戦闘機 1 機、米国製 M142 高機動ロケット砲システム「ハイマース」の発射したロケット弾 3 発、ドローン 37 機を迎撃した。
- ロシア軍はウクライナ軍の軍用機用弾薬保管庫 1 か所と、149 の地区で兵員を攻撃した。

<https://sputniknews.jp/20240903/93-19037059.html>

⑩対露制裁は日本の国益を損失＝木村三浩氏(2024年9月5日)

「日本の『明るい未来』構築を阻害する最も大きな国内問題、また外交問題は何か」というスプートニクの質問に対し、日本の愛国者団体「一水会」代表の木村三浩氏は「日本はロシアへの経済制裁で西側偏重に陥り、国益を損失した」と指摘した。

木村代表は、露極東ウラジオストクで開催されている東方経済フォーラム 2024(EEF2024)で登壇。対米従属、西側偏重の日本の外交政策を批判し、露日平和条約締結の必要性を訴えた。

木村氏は、日本が真の主権国家になるためには、米軍基地をめぐる不平等な状態や日米地位協定の見直しが必要と指摘。また、戦後体制の脱却や憲法・安保条約の改正も訴えた。



<https://sputniknews.jp/20240905/19047536.html>